

「建設業の担い手確保・育成の具体的な取組方策等について（最終報告）」に対する取組状況

資料 1

平成30年11月21日
建設部建設政策課

項目	取組内容	実績等
1 建設労働者の処遇改善の徹底		
(1) 適切な利潤の確保を通じた賃金水準の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な設計労務単価による積算【行政】 ○ 技術者・技能者に支払われる賃金水準の向上【業界】 ○ 市町村に対するダンピング対策強化の働きかけ【行政】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 設計労務単価：「公共事業労務費調査」の結果をもとに、公共事業事務費調査連絡協議会が決定し、県に通知 ○ 県建設業協会会員企業を対象に建設雇用管理実態調査を実施し、その調査結果の公表を通じて賃金水準の向上を促進 ○ ダンピング対策未導入市町村を訪問し、導入の要請を行った結果、30年4月から全市町村でダンピング対策を実施
(2) 中核となる技術者・技能者の技術・技能等の熟練度の適切な評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合評価落札方式における登録基幹技能者配置に対する評価【行政】 ○ 登録基幹技能者の評価・活用による処遇の向上【業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 登録基幹技能者配置に対する評価実績 H29：25件、H30：24件（9月末現在） ○ 「建設キャリアアップシステム」の受付窓口の開設（H30.8）と説明会の開催（H30.8.2、9.13）
(3) 高齢者が就労しやすい環境整備による技術・技能の継承及びマンパワーの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 熟練技術者や技能者によるOJTの実施促進【業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設産業団体や各事業主によるOJTの実施
(4) 建設業への入職意欲及び定着の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な工期・工程等の設定【行政・業界】 ○ 社会保険の加入や法令を上回る育児休暇制度の導入の推進【行政・業界】 ○ Aターン就職説明会の活用【業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「建設工事における適正な工期設定等のためのガイドライン」の周知 ○ 国や県との会議等を活用して適正工期等の設定に向けた要望活動 ○ 国、県、県建設業協会が連携して社会保険加入推進地域会議を開催（H30.9） ○ Aターンフェアへの参加 H29実績：9.3、10.29、12.30、2.10
(5) 完全週休二日制の普及に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 完全週休二日制モデル工事の実施【行政・業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 完全週休二日制モデル工事 H29実績：12件、H30予定：24件 ○ 完全週休二日制導入に向けた関係機関による意見交換の実施
(6) 経営基盤強化に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設業者の合併支援策の実施【行政・業界】 ○ 秋田県事業引継センターの活用促進【業界・行政】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合併支援策：格付総合点の加点や直近下位等級への参加等の合併特例の適用 ○ 引継センターの活用促進：各種説明会の機会を活用した周知
2 若手の入職と定着の促進		
(1) 建設産業への理解や関心の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設現場見学会や各種イベント等の開催【業界・教育・行政】 ○ 建設産業の魅力を伝えるパンフレット等による情報発信【業界・行政・教育】 ○ 総合評価落札方式で職業体験等の取組やWLB企業認定等に対する評価【行政】 ○ ICTモデル工事やICT研修等の実施【行政・業界・教育】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各建設産業団体や企業による建設現場見学会や出前説明会の実施 ○ 建設産業の魅力等をWEBで発信する県建設業協会ポータルサイト「アキケンch」の開設と情報発信（H29.9） ○ 建設産業担い手確保育成支援事業「魅力発信型」採択実績 H29実績：3団体、H30実績：4団体 ○ 子どもが遊びを通して建設産業に興味を持つきっかけとなる「建設ふれあいフェア」の開催：H30.11.3開催 総来場者数：600名 ○ 建設企業出前説明会 H29実績：1校、H30予定：7校 ○ 「建設業界ガイドブック」の配付による建設産業の仕事内容等の紹介 ○ 職場体験等の取組やWLB企業認定等に対する評価実績 H29：61件、H30：32件（9月末現在） ○ ICTモデル工事 H29実績：4件、H30予定：12件 ○ 建設ICT講習会（i-Academy恋地）H30.10.16～17開催 受講者：99名、対象：発注者（国、県、市町村）、受注者 ○ 建設ICT総合研修（i-Academy恋地）H30実績：5回 参加者数：61名 ○ ドローン体験交流会 H29実績：4回、H30予定：4回
(2) 若手・中堅技術者のキャリアアップの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若手や中堅技術者を対象とする研修会等の開催【業界・行政】 ○ 将来の賃金や役割等をイメージできる「キャリアパス」の提示【業界】 ○ 「建設キャリアアップシステム」の活用促進【業界・行政】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県建設業協会による若手・中堅技術者を対象とする研修会等を実施 特別教育、安全衛生講習、技能講習、土木・建築施工管理中級研修 ○ 建設産業担い手確保育成支援事業「キャリアアップ型」採択実績 H29実績：1団体、H30実績：4団体 ○ 2級施工管理技士学科試験対策講座受講者数（社会人） H30実績：9名 ○ 技術力研修（県内企業の建設技術者：200名参加 H30.4.18～4.20） 県建設業協会、土木施工管理技士会が主催し、県が共催 構造物の点検・診断、補修・補強等の施工技術を習得 ○ 「建設キャリアアップシステム」の受付窓口の開設（H30.8）と説明会の開催（H30.8.2、9.13）

「建設業の担い手確保・育成の具体的な取組方策等について（最終報告）」に対する取組状況

資料 1

平成30年11月21日
建設部建設政策課

項目	取組内容	実績等
(3) 優秀な若手技術者等が早期に活躍できる環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合評価落札方式における若手技術者配置に対する評価【行政】 ○ 総合評価落札方式における新卒者及び離職者の新規雇用実績や技術者の継続雇用に対する評価【行政】 ○ 入札参加資格による若手採用、継続雇用に対する加点点評価【行政・業界】 ○ 高校在学中の資格取得の推進【教育・行政】 ○ 新規入職者講習会の実施【業界】 ○ 若手・中堅技術者を対象とする研修会等の開催【業界・行政】（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 若手技術者配置に対する評価実績 H29：25件、H30：19件（9月末現在） ○ 新卒者及び離職者の新規雇用実績や技術者の継続雇用に対する評価実績 H29：84件、H30：54件（9月末現在） ○ 県内在住の若年者（31才未満）を常時雇用で採用し、かつ継続雇用の場合に加点 ○ 2級施工管理技士学科試験対策講座受講者数（高校生） H29実績：65名、H30実績：35名 ○ 就職前準備研修（H30.2.19～2.28）と新規入職者研修（H30.5.31～6.1）フォローアップ研修（H30.12.10）を開催
3 将来を見通すことができる環境整備		
(1) 中長期的な事業の見通しの確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公共事業費の安定的・継続的確保と国に対する働きかけ【行政・業界】 ○ ゼロ債務負担行為の設定等による工事発注や施工時期の平準化【行政】 ○ 工事の発注見通しの公表【行政】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国への要望：【H30】6/8、11/15に国土交通省及び財務省に対して要望 ○ 債務負担行為の設定により、年度末をまたぐ工期が可能となり、施工時期の平準化を実現 ○ 工事発注見通し公表：年4回（4・7・10・1月）実施
(2) 地域を支える建設業者の確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事の県内業者への優先発注【行政】 ○ 中小建設業者の受注機会確保のための分離・分割発注の推進【行政】 ○ 複数年契約による地域維持型JV制度の運用【行政】 ○ 余裕期間制度の導入と活用【行政・業界】 ○ 適正な予定価格の設定【行政】 ○ 経営者のスキルアップにつながるセミナーや研修会等の開催【業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内業者への優先発注及び分離・分割発注の推進を継続 ○ 県管理の道路河川維持管理業務及び除排雪業務を地域維持型JV制度で複数年契約により運用（道路管理：2年、除雪：1年7か月） ○ 契約日から工事着手日まで柔軟な選択を可能とする余裕期間制度の導入・活用 余裕期間設定工事の実績 H29：38件、H30：42件（10月末現在） ○ 設計資材単価は、刊行物により毎月調査し、骨材類、生Co、As混合物、鉄鋼金物類（鉄筋・矢板等）、油脂・燃料については、変動があった場合、その他は±5%以上の変動が生じた場合に単価を改定。 ○ 建設産業担い手確保育成支援事業「キャリアアップ型」採択実績（再掲） H29実績：1団体、H30実績：4団体
4 教育訓練の充実強化等		
(1) 産学官で人材育成を支える仕組みの構築	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育訓練施設等との連携体制の構築【教育・業界・行政】 ○ 企業連携による共同研修や人材交流等の実施【業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 産学官連携による人材育成の現状と課題を踏まえた研修カリキュラムの検討や研修コースの新設（ポリテクセンター）
(2) 小中高等学校と連携した人材確保育成の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設現場見学会や各種イベント等の開催【業界・教育・行政】（再掲） ○ 建設産業の魅力を伝えるパンフレット等による情報発信【業界・行政・教育】（再掲） ○ ICTモデル工事やICT研修等の実施【行政・業界・教育】（再掲） ○ 高校在学中の資格取得の推進【教育・行政】（再掲） ○ 新規入職者講習会の実施【業界】（再掲） 	<p>「実績等」は2-(1)、(3)に記載</p>
(3) 資格取得や技能習得によるキャリアアップの推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合評価落札方式による技術者の継続教育（CPD）の取組の評価【行政】 ○ 若手・中堅技術者を対象とする研修会等の開催【業界・行政】（再掲） ○ 建設労働者確保育成助成金など各種支援制度の周知【行政・業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術者の継続教育（CPD）に対する評価実績 H29：78件、H30：42件（9月末現在） ○ 研修等実績は2-(2)に記載 ○ 各種支援制度の周知：経営事項審査説明会（H30.2.26～3.2）で周知
5 女性の更なる活躍促進		
(1) 女性活躍に関する情報発信・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設業の魅力を伝える情報発信【業界・行政】 ○ 女子高校生と女性技術者による建設女子会の開催【業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設産業の魅力等をWEBで発信する「アキケンc h」の開設と情報発信（再掲） ○ 建設業協会女性部会の活動による情報発信 （一社）平鹿建設業協会女性部「SAKURA」 H29.10.11設立 （一社）雄勝建設業協会女性部会「はなこまち」 H30.6.29設立 （一社）秋田県仙北建設業協会「HANAMARU」 H30.11.1設立 ○ 担い手確保育成推進員による積極的な情報発信 企業等訪問回数 H29実績：65回、H30実績（10月末）：75回 ○ よこて建設女子会の開催 H29：9/2開催 参加者31名（女子高校生19名、女性技術者等12名） H30：11/17開催 参加者34名（女子高校生19名、女性技術者等15名）
(2) 女性にとって働きやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性の職場環境改善を図るための経営者向け研修会の開催【業界】 ○ 法令を上回る育児休暇制度の導入の促進【業界・行政】 ○ 現場で働く女性に配慮した施設や設備の普及・整備【業界・行政】 ○ 女性活躍推進に関する厚生労働省等の支援制度のPR【行政】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育児休業実績等の等級格付け項目への反映 ○ 建設企業向けICTセミナーの開催：参加者48名（H30.10.24） ○ 快適トイレの設置実績 H29：21件、H30：31件（11.15現在）

「建設業の担い手確保・育成の具体的な取組方策等について（最終報告）」に対する取組状況

資料 1

平成30年11月21日
建設部建設政策課

項目	取組内容	実績等
(3) 女性のキャリアアップの促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 女性技術者等のスキルアップを図るための研修会等の開催【行政・業界】 ○ 女性技術者配置モデル工事の実施【行政・業界】 ○ 総合評価落札方式における女性技術者の評価【行政・業界】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設産業女性活躍ネットワーク事業による取組 H29実績：1団体（平鹿）、H30予定：3団体（平鹿、雄勝、仙北） ○ 女性限定ICT研修の開催：参加者10名（H30.10.29～11.2） ○ 女性技術者配置モデル工事实績 H29：5件、H30：4件（9月末現在） ○ 女性技術者配置に対する評価実績 H29：5件、H30：4件（9月末現在）
(4) 建設産業への入職の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○ 建設現場見学会や各種イベント等の開催【業界・教育・行政】（再掲） ○ 建設産業の魅力を伝えるパンフレット等による情報発信【業界・行政・教育】（再掲） ○ ICTモデル工事やICT研修等の実施【行政・業界・教育】（再掲） ○ 女子高校生と女性技術者による建設女子会の開催【業界】（再掲） 	「実績等」は2-(1)、5-(1)に記載
6 建設生産システムの省力化・効率化・高度化		
(1) 新技術・新工法の開発及び現場での活用	○ ICTモデル工事やICT研修等の実施【行政・業界・教育】（再掲）	「実績等」は2-(1)に記載
(2) 計画的・効率的な受注や施工の実施を通じた作業時間の短縮、計画的な休日確保等現場の労働条件改善の推進	○ 施工時期の平準化及び適正工期の設定への取組【行政・業界】	○ 繰越明許費の早期設定や余裕期間制度の活用
(3) 技術者・技能者の効率的な活用	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多能工の育成と処遇改善の推進【業界・行政】 ○ 現場代理人等の常駐義務の緩和【行政】 ○ 「建設キャリアアップシステム」の活用促進【業界・行政】（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多能工の育成：経営事項審査説明会（H30.2.26～3.2）で支援制度を周知 ○ 一定の条件のもとで現場代理人の常駐義務を3件（災害復旧関連を含む場合は最大5件）まで兼務を認める ○ 「建設キャリアアップシステム」の受付窓口の開設（H30.8）と説明会の開催（H30.8.2、9.13）
(4) 重層下請構造に関する実態の情報収集	○ 下請けの回数目標設定等に関する情報収集【行政】	○ 施工体制点検等の機会を活用した情報収集
(5) 技能労働者を大切に、施工力のある専門工事業者の適正な評価	<ul style="list-style-type: none"> ○ 常用雇用・月給制等の雇用形態の普及【業界】 ○ 技能労働者の直接雇用の拡大【業界】 	○ 県建設業協会会員企業を対象に建設雇用管理実態調査を実施し、その調査結果の公表を通じて常用雇用・月給制等の雇用形態の普及を促進